

平成 27 年第 2 回 日本救急医学会 男女共同参画推進特別委員会 議事録

日時 平成 27 年 4 月 16 日 (木) 10:00～12:00

場所 日本救急医学会事務所

出席

委員長 : 畝本 恭子

委員 : 阿南 英明

岡田 昌彦

木田 真紀

木村 昭夫

角 由佳

長谷 敦子

並木 淳

並木 みずほ

本多 ゆみえ

矢口 有乃

担当理事 : 田中 裕

オブザーバ

代表理事 : 行岡 哲男

欠席 : なし

1. 前回議事録確認

2. 議事

1) 第 43 回日本救急医学会総会における委員会企画

① ワークショップ

- ◆ 2～2.5 時間のワークショップの予定
- ◆ 案内文は委員の意見を取り入れ、すでに総会HPに掲載
- ◆ 司会は、昨年の特別企画の演者の中から、岡田先生、角先生にお願いした。
- ◆ 一部指定として演題を公募
 - ◆ 公募演題の採択は司会にお任せする
 - ◆ 男女比、世代比を考慮
- ◆ ワークショップの骨子は、

①救急医を続けられる職場環境

- ◆ **指定演者：鳥取大学附属病院の取組み**（24 時間保育、ワークライフバランス支援センターの設置など）実際に働いておられる女性救急医に演者をお願いする

②救急医を続ける選択に関するアイデンティティ クライシス

- ◆ かつて、救急医の専門性が疑問視された時代もあった。内科系、外科系の専門的知識、技術を獲得、持続することが難しい（「何でも診られるということは、何も診られないということ」）と評された。
- ◆ 現在、腹腔鏡手術が全盛で‘切れない外科医’も出かねない中で、外傷や緊急腹部外科などは救急外科医に活躍の場、などアイデンティティは獲得できる。
- ◆ 総合診療医も人気が高いが、ERを想定しているわけではなく、ここにも救急医のアイデンティティはあり、社会的ニーズは高い
- ◆ 指導医・専門医制度委員会も、現在、救急医像や、サブスペシャリティのバリエーション、総合診療医専門医との関連など、魅力あるプログラムを策定しつつある。これはぜひ、各世代の救急医に紹介する必要がある⇒ **コメンテータとして木村昭夫先生**
- ◆ ①を前半、②を後半といった構成とする。
- ◆ 現状で、若い救急医がどのように考えているのかという意識調査は必要
 - ◆ 費用も限られるので、20～30 代の学会員（医師）を 1000 人無作為抽出して、アンケートを送る
 - ◆ **web 調査はコストが高いので、今回も郵送とする。**
 - ◆ 前回の女性医師アンケートの回収率から、3 割程度の回収が見込まれるが、できるだけ返送していただけるようお願いする（施設長宛てメールなど？）
 - ◆ 項目：性別、年齢（25～39 歳を 3 組に分ける）、専門医の有無、質問：救急医を一生続けられますか？⇒はい、いいえ⇒いいえの方に理由として複数選択項目と自由記載。
- ◆ 指定演者
 - ◆ 本多先生：アンケート結果（ワークショップ初頭）
 - ◆ 阿南先生：男性医師：パートナーとしての意識の変遷など
 - ◆ 木田先生：女性医師支援の先進的取り組みなど
 - ◆ 鳥取大の先生（女性救急医お二人のうちどちらか）
- ◆ コメンテータ
 - ◆ 木村先生：専門医制度について
- ◆ スケジュール確認：並木淳先生より、前々回のスケジュールの紹介

- ◆ 一般公募の査読が5月末～6月第1週
- ◆ プログラム・抄録誌の原稿締め切りが7月
- ◆ このため、指定演者の抄録も6月第2週までに。
- ◆ アンケートの項目は4月第4週一杯にメール会議で決定
- ◆ 5月1日に発送。5月末までに回収、次回委員会までに解析
 - ◆ 担当は本多先生を中心として 事務局のご協力も

② ラウンジについて

- ◆ 名称：委員会名の変更に伴い、男女とも入りやすいように変えるか
 - ◆ 男女とも、となると、極端なことをいえば、どの委員会でも同様の企画を立てることができることになる。
 - ◆ 実際、働き方の悩みが多いのが女性医師であることも確か。ロールモデルの紹介や、来場者が気軽に先輩医師と話せる場として有意義
 - ⇒ 今回は、女性医師ラウンジ色を継続する。

なお、本委員会後、総会事務局より、第43回総会でも、ラウンジ設置が決定されたというご連絡をいただいた。

2) ホームページの立ち上げについて

- ◆ 田中代表理事より：現在予算内で立ち上げるよう検討中。その際のコンテンツについて十分検討しておいてほしい
- ◆ いわゆる優良施設について
 - 施設の紹介：取組などを紹介したい施設を募る。
 - 施設（長）へのアンケート：本多先生が作成してくださったもの（別資料）をもとに練って、施設名を公表しないことを前提に回答をお願いする。

3) コアメンバーへの働きかけについて

- ◆ 新しいコアメンバー募集：学会HPの委員会ページにアップした
- ◆ 総会にむけての働きかけ：次回
- ◆ HPへのロールモデルとしてのファイル提供：HP立ち上げのめどが立ち次第

4) その他

e-レジ講演報告：角先生

‘医学生に向けたキャリア相談’の講演：第5学年がメインで、男性が7割であった。‘救急医になったら、育児参加できますか？’という質問が男子学生から出るなど、救急医に対するイメージも変わってきているかもし

れない。

今週末、関西で、木田先生が講演予定、福岡開催予定もあり、長谷先生に
お願いしたい。

次回委員会予定

6月25日（木）10時～12時

日本救急医学会事務所にて